



ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>血液の組成と機能 (5分39秒)</p> <p>🔊</p>		<p>血液、特に血球の組成（赤血球、白血球、血小板）とそれぞれの血球の役割について、重要な点に絞って解説している。</p>	<p>1章 血液の組成と機能</p>
<p>骨髄穿刺の介助 (10分30秒)</p> <p>🔊</p>		<p>骨髄穿刺とそれに伴う処置を通して、看護師がどのように医師の介助をするのか、看護のポイントに焦点を当てながら紹介する。</p>	<p>3章 血液造血器の異常で行われる検査と看護 ■ 3 骨髄検査 3 骨髄検査の看護</p>
<p>無菌室の一例 (2分30秒)</p> <p>🔊</p>		<p>無菌室の意義、室内を無菌状態に保つための工夫、構造、利用時の注意点などを紹介する。</p>	<p>4章 血液・造血器疾患の治療・処置と看護 ■ 5 造血幹細胞移植 2 治療・処置の方法</p>
<p>凝固・線溶のしくみ (5分23秒)</p> <p>🔊</p>		<p>凝固・線溶のしくみは、なかなかイメージしにくい。本アニメーションでは、凝固における血小板やフィブリンの動き、線溶におけるプラスミンの動き、その他、凝固異常などを、感覚的に理解しやすいようになっている。</p>	<p>1章 血液の組成と機能 6章 出血傾向 ■ 3 播種性血管内凝固 1 播種性血管内凝固とは</p>
<p>免疫のしくみ (4分25秒)</p> <p>🔊</p>		<p>自然免疫と獲得免疫の違いや、獲得免疫の分類（液性免疫と細胞性免疫）などを、免疫細胞（顆粒球やマクロファージ、T細胞、B細胞など）の紹介と併せて説明する。</p>	<p>10章 免疫に関わる細胞・器官とそれらの機能</p>
<p>花粉症の検査と診断 (4分19秒)</p> <p>🔊</p>		<p>アレルギー反応の有無を調べ、アレルゲンを特定するためのテストとして皮内テストがある。紅斑と膨疹の大きさにより診断される。スクラッチテストやプリックテスト、鼻粘膜検査の方法も紹介する。</p>	<p>12章 免疫機能の異常で行われる検査と看護 ■ 2 アレルギーに関連した検査 14章 アレルギー ■ 1 花粉症（アレルギー性鼻炎） 1 花粉症とは</p>
<p>関節リウマチの 運動療法 (4分44秒)</p> <p>🔊</p>		<p>関節リウマチの患者は、炎症症状の進行に伴い全身的に屈曲位優位の不良姿勢をとることが多くなる。不良姿勢の出現と進行を予防するための運動を紹介する。</p>	<p>15章 自己免疫疾患（膠原病） ■ 2 関節リウマチ 1 関節リウマチとは</p>

# 血液／アレルギー・膠原病／感染症

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>関節リウマチの自助具 (6分29秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>関節リウマチの患者が関節可動域制限や手指変形を呈すると、日常生活動作や家事などが行いにくくなる。その際に役立つ自助具を紹介する。</p>	<p>15章 自己免疫疾患（膠原病） ■ 2 関節リウマチ 1 関節リウマチとは</p>
<p>感染症～冷静な対応のために (12分49秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>医療従事者である限り、感染症に罹患するリスクは避けて通れない。感染症法における感染症の分類と対策を確認するとともに、医療従事者が感染症とどう向き合うべきか考えるべく、西アフリカのリベリアでエボラ出血熱患者の対応にあたった感染症の専門家、古宮伸洋医師（日本赤十字社和歌山医療センター）に話を聞いた。</p>	<p>18章 感染症でみられる症候と看護 ■ 感染症の定義と炎症の4徴候 1 感染症</p>
<p>尿検査の実際 (3分25秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>5段階の血尿スケールの評価や尿沈渣検査の方法を紹介。さらに細胞診の判定基準なども解説する。</p>	<p>19章 感染症で行われる検査と看護 ■ 1 感染症で行われる主な検査 2 検査の方法</p>
<p>滅菌手袋の着脱 (2分48秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>手袋の外側に触れないよう注意しながら装着し、両手を合わせて指先をフィットさせる。手袋を外す場合も外側に触れないようにして脱ぐ。</p>	<p>19章 感染症で行われる検査と看護 ■ 1 感染症で行われる主な検査 3 看護</p>
<p>薬剤感受性検査 (1分45秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>MRSAなどの薬剤耐性菌が問題となっている。薬剤耐性菌の増殖を防ぐには抗菌薬の適正な使用が重要である。ディスク法を用いた薬剤感受性検査について解説する。</p>	<p>19章 感染症で行われる検査と看護 ■ 6 薬剤感受性試験 2 検査の方法</p>
<p>手洗い (3分18秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>石けんによる手洗い、アルコール製剤による手指消毒の方法を解説する。</p>	<p>20章 感染症で行われる治療・処置と看護 ■ 1 化学療法 7 耐性菌をもたらないために</p>
<p>微生物の大きさ (2分30秒)</p> <p>▶▶▶</p>		<p>微生物・医動物はその大きさも種類によってさまざま。肉眼で観察することができる寄生蠕虫などから光学顕微鏡で観察可能な原虫、電子顕微鏡でなければ観察できないウイルスなどがある。</p>	<p>感染症</p>

## 血液／アレルギー・膠原病／感染症

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>ヒト免疫不全ウイルス (Human immunodeficiency virus) (45 秒)</p> <p>🔊</p>		<p>エイズの病原ウイルスである HIV ウイルスについて、その構造や感染経路について説明する。</p>	<p>21 章 ウイルス感染症・プリオン病</p> <p>■ 7 ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症, AIDS</p> <p>1 ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症, AIDS とは</p>
<p>細菌性食中毒の予防 (2分 35 秒)</p> <p>🔊</p>		<p>細菌性の食中毒を予防するためには、食品に菌を寄せ付けないことや、菌を増殖させないことが重要である。食品中の細菌の増殖について実験を行う。</p>	<p>22 章 細菌感染症</p> <p>■ 1 黄色ブドウ球菌感染症</p> <p>2 黄色ブドウ球菌感染症患者の看護</p>